

# 精神医学に興味を持つ皆さんへ



京都大学大学院医学研究科  
脳病態生理学講座(精神医学)

# 京大病院精神科（西病棟）

- 1903年 京大精神医学教室設置
- 第2代三浦百重教授が庭園に点在するパヴィリオン方式の精神科病棟を完成させた。
- 1988年 現在の精神科病棟（西病棟）開棟。  
当時は80床開放病棟
- 1989年 **デイ・ケア診療部**設置  
(国立大学医学部附属病院の中では初めて)
- 2005年 60床閉鎖病棟に転換
- 2009年4月 常勤PSW3名体制に。
- 2009年9月 **急性期治療病棟**入院算定開始。  
(国立大学医学部附属病院の中では初めて)
- 2014年8月 常勤心理士雇用

# 京大病院精神科(西病棟)

東大路通

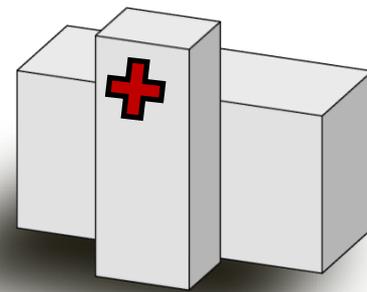


川端通

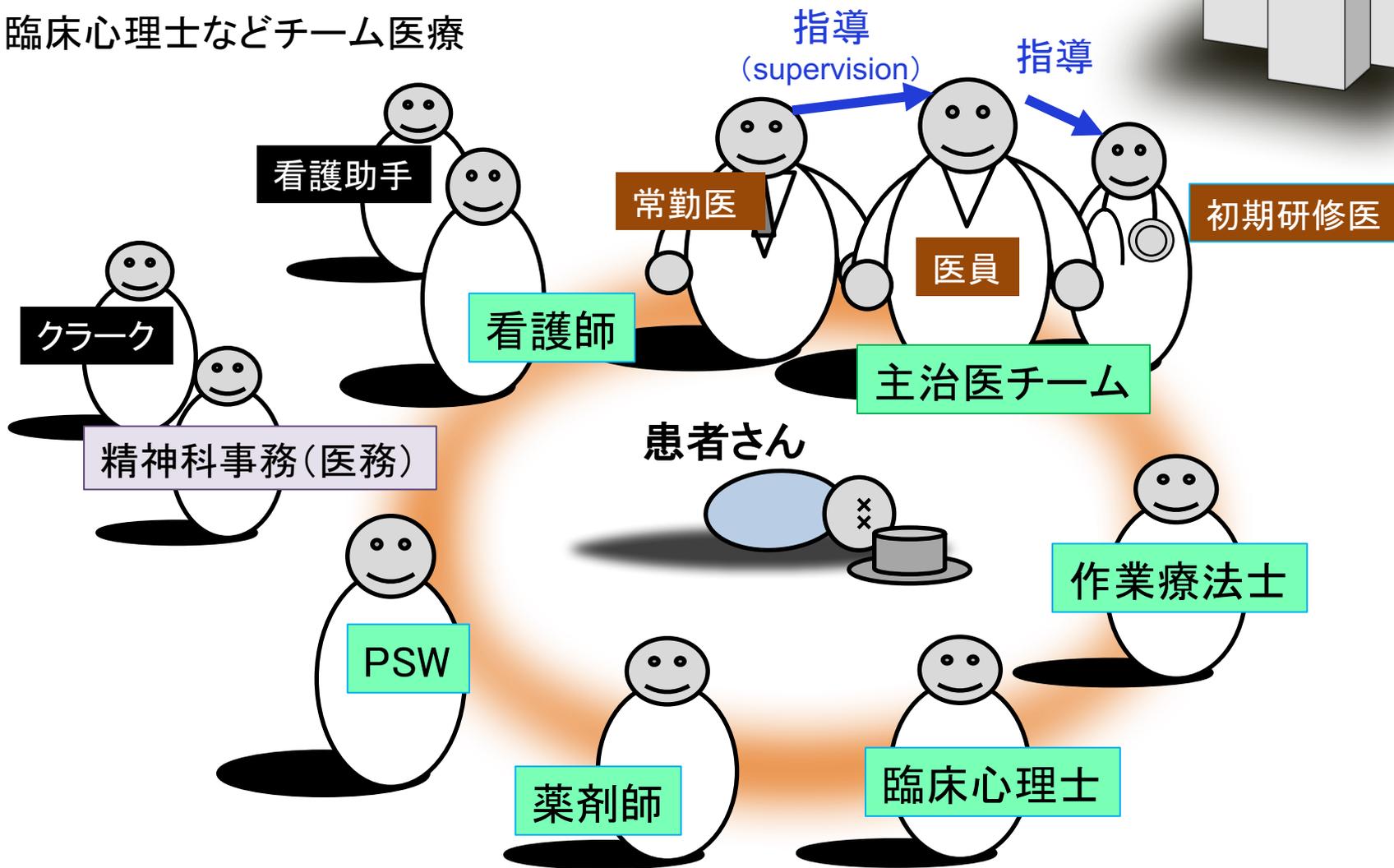


緊急時に必死で走って7分ぐらいかかります  
(ストップウォッチで測りました)

# 入院診療に関わるチーム



- 主治医グループは、常勤医+医員+初期研修医
- 看護師、精神保健福祉士、作業療法士、薬剤師、臨床心理士などチーム医療



# 閉鎖病棟



病棟入口(常に施錠)

デイルーム



# デイケア診療

- 1989年、デイ・ケア診療部が設置。  
※国立大学医学部附属病院の中では初めて
- 精神科急性期病棟に入院中から退院後まで精神科リハビリテーションサービスを提供。  
※医師、看護師、作業療法士、臨床心理士が連携
- 統合失調症、気分障害、不安障害、摂食障害、広汎性発達障害等、幅広い精神疾患患者を対象。
- 精神科作業療法が3,900件/年（16人/日）
- デイ・ケアが5,800件/年（同25人）。

# 作業療法・デイケア



1929年に建てられたクラシックな建物



# 作業療法・デイケア

喫茶ぷーらん

畑で育てた野菜で調理実習



## 医員・研修医の業務

### ○病棟業務

上級医の指導のもとで主に入院患者さんの診療に当たる

例年5~8名程度の医員が勤務し、一人あたり7~12名程度の入院患者を担当  
当直日は1日1~3件程度のリエゾン診療にあたる  
当直は月に3回程度

### ○カンファレンス

ケースカンファレンス

多職種合同カンファレンス

摂食障害カンファレンス

ECT/ クロザリルカンファレンス

### ○その他義務でないイベント

忘年会/納涼会/医局旅行



# 京大精神科の人事の方針

- 3年間は責任をもって研修先を紹介（～5年までフォローアップ）
- 複数の施設で研修
- その後のキャリア形成にも協力する。強制はしない
- 無縁なもの
  - お礼奉公
  - 病院からのキックバック
  - 恫喝
  - 例 「京都で働けないようにしてやるぞ！」

# 京大精神科専攻医プログラム

基本モデル(絶対ではない)

京大病院  
1年

- 統合失調症
- 気分障害
- 児童・思春期
- 器質性
- リエゾン
- 学会発表

総合病院  
1年

- 気分障害
- 神経症
- 児童・思春期
- 外来
- リエゾン

精神科病院  
1年

- 措置
- 統合失調症
- 依存症
- 認知症

# 過去5年間の赴任先

青字: 総合病院

赤字: 精神科病院



# 教室出身者が勤務している主な医療機関

	総合病院(有床)	総合病院(無床)	単科精神科病院	その他
公立	<p>公立小浜病院 公立豊岡病院</p>	<p>国立京都医療センター 京都市立病院</p>	<p>京都府立洛南病院 兵庫県立光風病院 大阪府立精神医療センター 湖南病院</p>	<p>京都市児童福祉センター 静岡てんかんセンター 国立精神神経センター 京都市心の健康増進センター 京都医療少年院 大阪医療刑務所 京都少年鑑別所 京都家庭裁判所</p>
公的	<p>大阪赤十字病院 大津赤十字病院 北野病院 天理よろず相談所</p>			
私立	<p>京都博愛会病院 豊郷病院</p>	<p>京都桂病院</p>	<p>岩倉病院 長岡病院 阪本病院 光愛病院 嵯峨病院 西山病院 藍陵園病院 宇治おうばく病院 滋賀里病院 関西青少年サナリウム 阪南病院</p>	

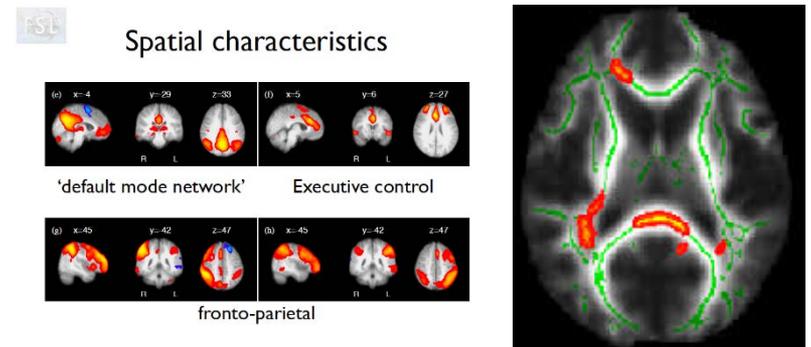
# 精神医学教室の研究領域

- 神経画像
  - 統合失調症の形態画像
  - Neuroeconomics
  - 病的賭博
- Imaging genetics
- 発達・児童
- 司法精神医学
- 神経心理(損傷研究)
- 気分障害
  - 電気けいれん療法
  - 認知行動療法
- 精神病理
  - 生体肝移植
  - 摂食障害

グループ分けはできるだけ設けず、多くのプロジェクトは連携して推進。

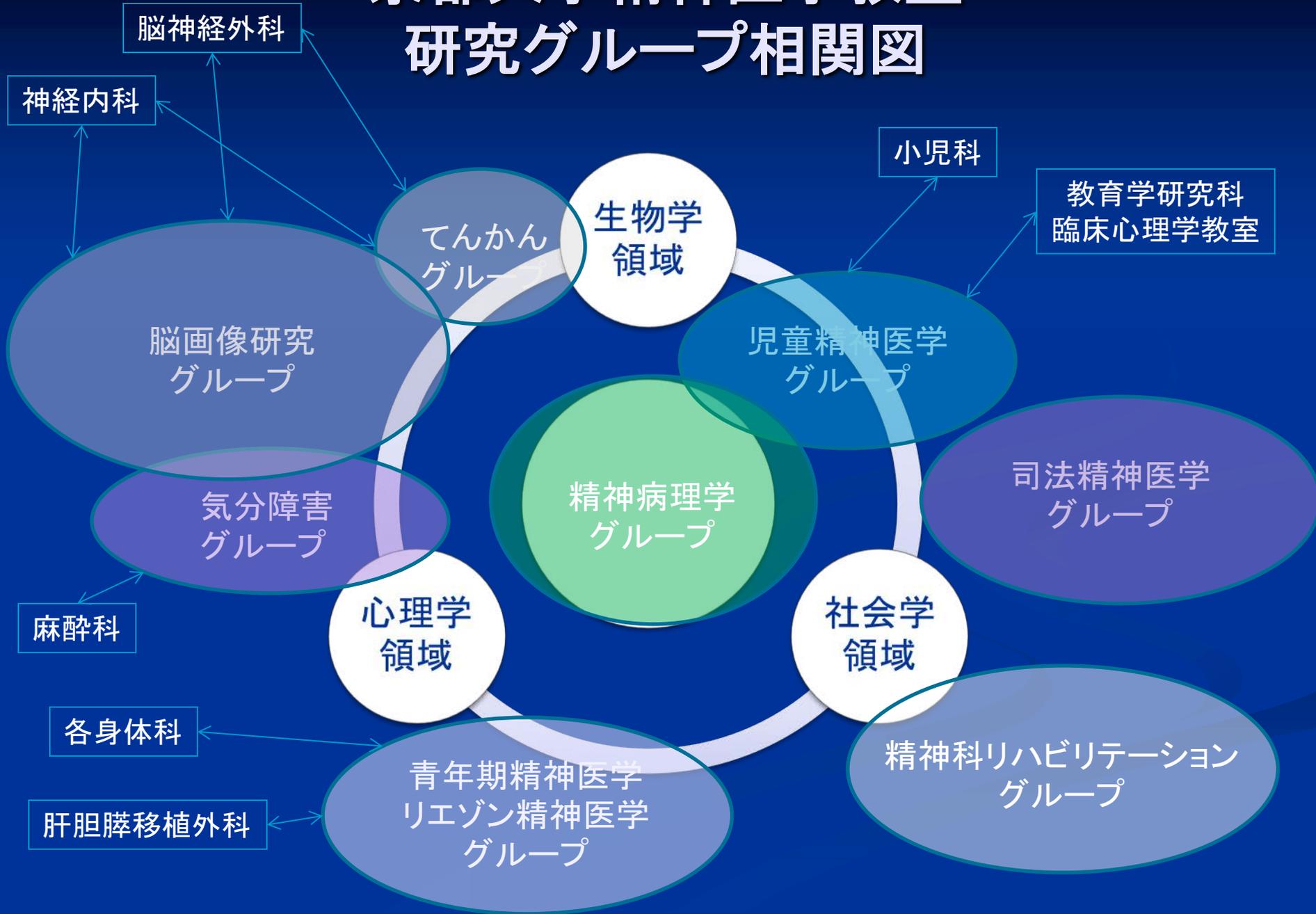
# 精神疾患と脳画像

- MRIを用いた脳画像研究を中心に行っている。
- 灰白質・白質の体積変化、白質構造、皮質厚、機能的結合性、構造的結合性などが計測できる。



- 共感性の低下と白質構造の関連 (DTI)
- 幻聴と構造的結合性の関連 (tractography)
- 曖昧性不寛容と機能的結合性の関連 (resting state fMRI) etc...

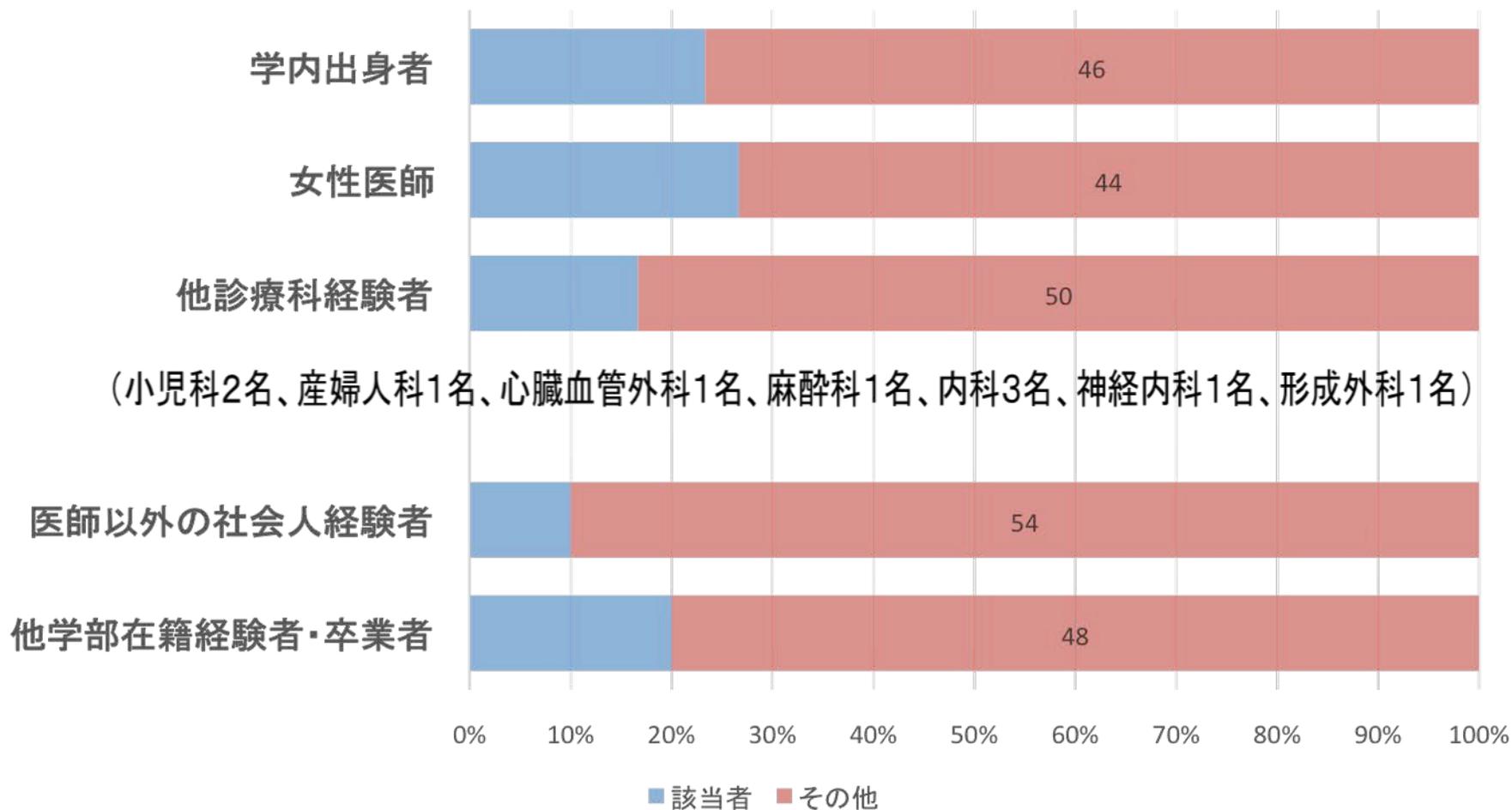
# 京都大学精神医学教室 研究グループ相関図



# 京大精神科での臨床研修・ 人事・キャリアパス

# 入局者の動向(2009～2014)

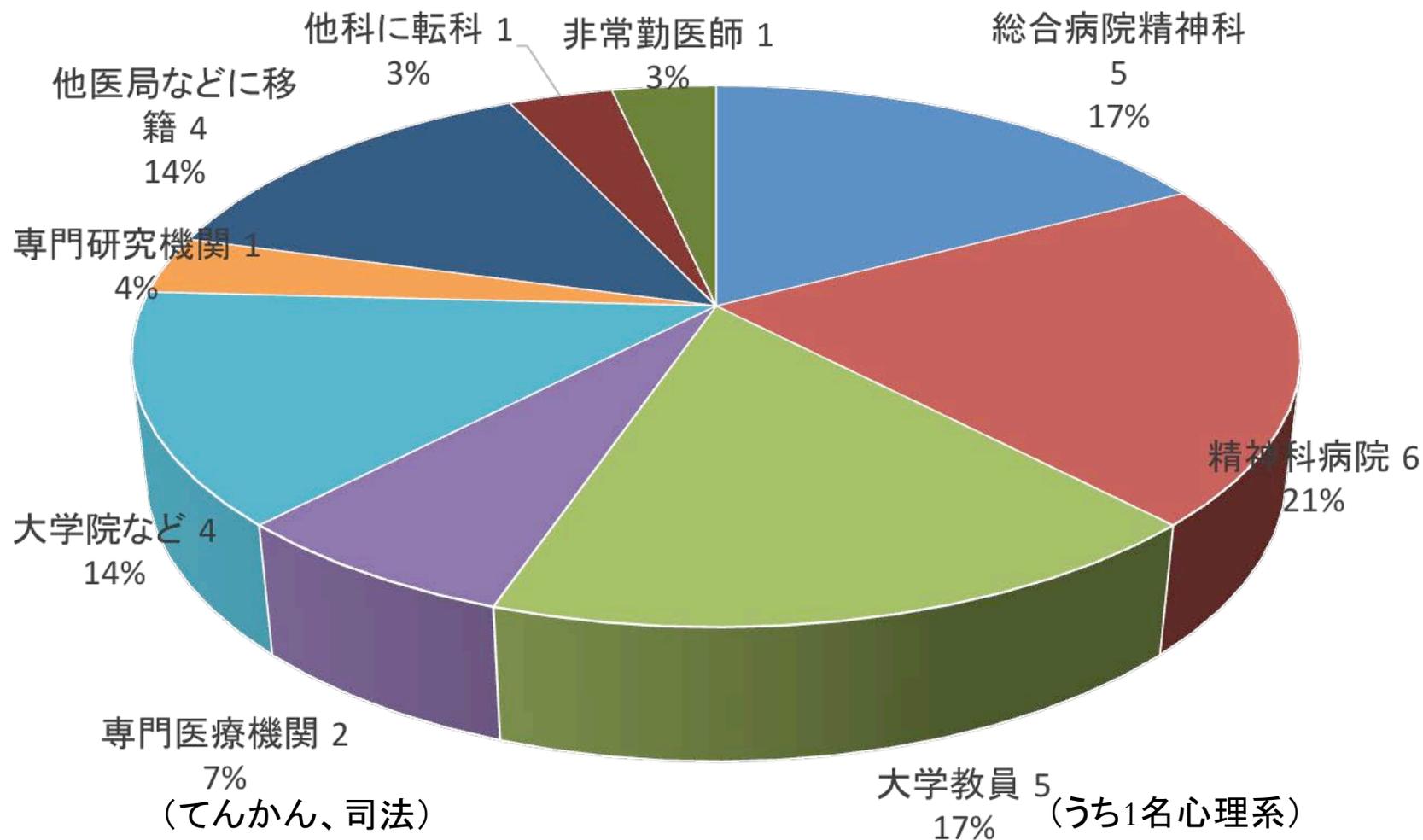
[計60人]



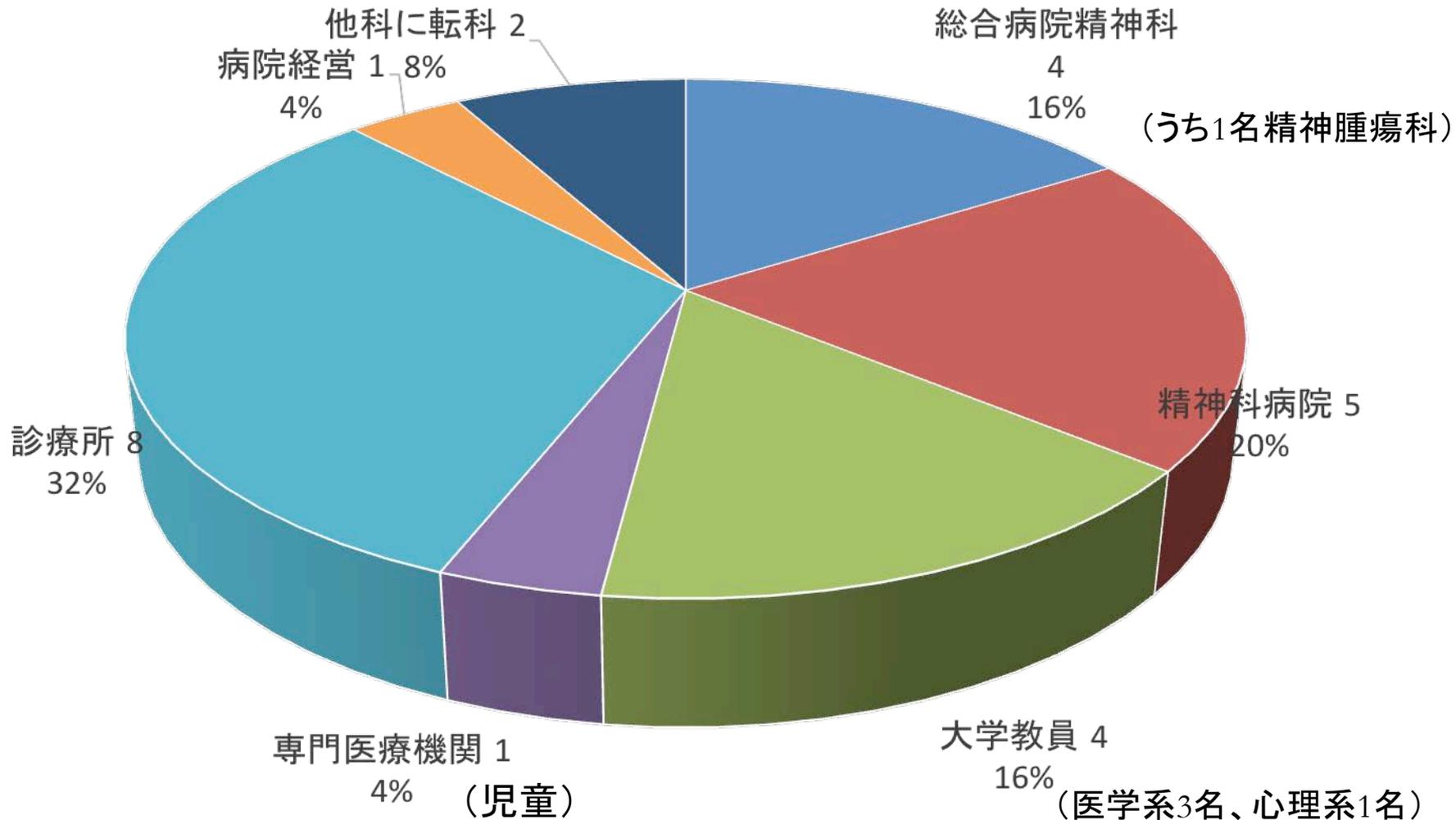
# 教室出身者が勤務している主な医療機関

	総合病院(有床)	総合病院(無床)	単科精神科病院	その他
公立	<p>公立小浜病院 公立豊岡病院</p>	<p>国立京都医療センター 京都市立病院</p>	<p>京都府立洛南病院 兵庫県立光風病院 大阪府立精神医療センター 湖南病院</p>	<p>京都市児童福祉センター 静岡てんかんセンター 国立精神神経センター 京都市心の健康増進センター 京都医療少年院 大阪医療刑務所 京都少年鑑別所 京都家庭裁判所</p>
公的	<p>大阪赤十字病院 大津赤十字病院 北野病院 天理よろず相談所</p>			
私立	<p>京都博愛会病院 豊郷病院</p>	<p>京都桂病院</p>	<p>岩倉病院 長岡病院 阪本病院 光愛病院 嵯峨病院 西山病院 藍陵園病院 宇治おうばく病院 滋賀里病院 関西青少年サナリウム 阪南病院</p>	

# 長期キャリア:十数年後 平成12~14年度入局者(29名)



# 長期キャリア:二十数年後 平成2~4年度入局者(25名)



# 村井教授からのメッセージ

- 精神科医療・精神医学のキャリアパスは、ひとつのゴールを目指して競い合う世界とは、まったくイメージが違います。
- 多様なバックグラウンド、資質、関心を持った皆さんが、それぞれの持ち味を生かし、それぞれの持ち場で、責任と働き甲斐のある立場に立ち、活躍してもらえることを願います。
- 精神科医としてのキャリアは数十年という息の長い道のりです。ワーク・ライフ・バランスにも配慮しながら、皆さんがやりがいを持ってこの仕事を続けていけることを、何より願います。
- 京大精神科の研修・人事システムは、これらのことにすべての力を注ぎます。



